

さんくす

発行: 笠懸町第三区広報委員会

発行所: 笠懸町第三区公民館

第36号

https://sannkusu-kasakake.com

2023/03/01

sannkusu.kasakake@gmail.com

急ピッチで進む阿左美バイパス工事

阿左美バイパス拡幅は周辺の環境を大きく変化させました。東武線の南北をつなぎ、通学路としても重要な役割を務める阿左美アンダーは当初の予定から半年以上遅れて、11月末に歩道部分が、車道は12月20日(火)ようやく供用開始となりました。

阿左美バイパスと東武線をまたぐ歩道橋の工事は6月17日(金)に架橋されたものの、東武線をまたぐ部分については2期目の工事となっていて、現在急ピッチで工事中です(写真上)。本年度末の完成予定で、その後に歩道橋の供用開始となる模様です。

歩道橋は通学路の安全を強く望む笠懸東小学校のPTAからも要望されていて、念願が叶うことになりそうです。



阿左美バイパスの拡幅部分についても工事が進行中ですが、4車線道路として供用開始するためには、まなび橋付近の歩道橋を撤去する必要があります。今年度末を目標とする工期ですが、これまでの例を見るとずれ込む可能性も少なくありません。

行政区の動き 区長 赤石 勝

今年度も昨年度同様に新型コロナウイルスの影響を受けた年になってしまいました。行政区の多くの行事が中止となり、区民の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしたことが残念です。

三区納涼祭、敬老行事、荒神山清掃等の大きな行事が中止となりました。ただし敬老行事は記念品配布に形を変えて行いました。また、笠懸まつりは時期を11月に、場所を桐生ポート場に変更して2年ぶりに開催できたことは光明が見えた気がしました。また、福祉部や育成会の行事も徐々に復活しつつあることも喜ばしいことです。

このような状況下でもできることは、コロナ禍が過ぎ去った後に向けての準備と考え、公民館の屋根の補修工事及び防災備品として折り畳み式リアカー及び簡易便座を補充しました。また、市で普及推進中のポッチャ競技道具を補助金を利用して2セット購入し、公民館に配備しました。

このようなハード面の準備は進められますが、人材面の継続性については難しい課題と認識しております。この課題を少しでも前進させるためには、住民の皆様と先輩方の経験と知恵が必要です。今後の行政区各種活動へのご協力を切にお願い致します。一刻も早いコロナ禍の収束と平常回復を祈念します。

散歩道 (23) 阿左美沼土地改良区

江戸時代の初めには笠懸野は大間々扇状地の上に位置し、水利の便が悪く土地が痩せていたため水田には適さない地域でした。しかし、阿左美沼は沼の中に「七つ井戸」と呼ばれる湧泉があり、この水を利用して阿左美地区の田畑が早くから開発されてきました。

明治初期に再興された岡登用水により安定的に用水が確保できましたが、阿左美沼土地改良区の前身は法的な根拠を持たない任意の水利組合でした。

戦後の農地改革が一段落した昭和24年(1949)に、土地改良事業の根本となる土地改良法が制定されました。水利組合もこの土地改良法に則って昭和30年

(1955)の1月に南光寺を会場に創立総会が開かれ組合員数112名、耕地田33.7haで阿左美沼土地改良区が発足しました。

その目的は旱魃対策で、貯水量の増加と用水の計画配分また、用水路の整備や農業道路の維持管理で

した。また阿左美沼(旧沼)に隣接する「阿左美東貯水池」で昭和31年から桐生競艇が開催されました。この競艇事業によって阿左美沼土地改良区はさまざまな影響を受けて独自の運営を行ってきました。

現在は受益面積13ha、組合員77名、理事12名で施設の老朽化や組合員の高齢化、担い手不足などの課題に取り組んでいます。



笠懸町子ども会 上毛かるた大会

三区 個人戦に4人、団体戦に3チーム出場

1月15日(日)に笠懸公民館で、第63回笠懸町子ども会上毛かるた大会が3年ぶりに開催されました。三区からは、2年生から6年生までの15人が個人戦4人と、3人1組でチーム編成された団体戦に3チームが挑みました。

三区の子ども達は、大会出場に向けて11月下旬から1月中旬まで週2回の練習をしてきました。練習の成果を大会で発揮した結果、三区から7チーム出場した中で高学年Aの5位が1番良い順位でした。

三区から7チーム出場できたことは、区民としても嬉しいと思います。子ども達は、お正月の伝統行事に参加でき、真剣な表情で札を取り合ったことは良い思い出になることでしょう。



個人戦と低学年団体戦出場者



高学年団体戦出場者

子ども育成会の活動予定

子ども育成会について、近年はコロナ禍で活動自粛を余儀なくされていましたが、今年度はできる行事から再開してきました。しかし、行政区をはじめ各関係団体と連携している行事もあるので、現在も自粛している行事は数多くあります。

4月から新役員体制となりますが、今年度と同様に解らない内容は経験者に聞きながら、できる限り行事を開催していきます。詳細は回覧板でお知らせしますので、引き続き区民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。令和5年度 子ども育成会会長 山澤 広美

新年は琴の音と、手打ちそば、わかばサロンⅡ



琴の音でお正月らしさを満喫

令和5年1月12日(木)、10時から三区公民館において、笠懸町第三区介護予防教室、わかばサロンⅡが40名の参加者のもと開催されました。主催は三区民生委員児童委員・三区老人クラブ役員。今回は令和4年度の最終回となりました。

主催の森田委員長からは「今年度最後のわか

かばサロンとなります。琴の演奏、輪投げもあります。景品も準備しましたので、楽しんでいってください。」と挨拶がありました。

赤石区長からは「コロナが続きイベントがなかなか出来ませんでした。福祉部が素晴らしい企画をしてくださいました。楽しんでいってください。」と挨拶がありました。また、今回もそば打ち会、藤生定雄会長ら5名の方が早朝から地元笠懸産のそば粉を使って手打ちしたそば(写真右)が参加者にプレゼントされました。



地場産そば粉の味は絶品です

防災訓練

令和4年12月4日(日)に行われた公民館大掃除の後に続き、大掃除に参加した人たちを対象に防災訓練が行われました。

訓練は桐生みどり消防署と地元の消防団の指導により行われ、消火器を使った消火活動でした。消火器の使い方や消火の仕方などの説明があり、火事の際、特に炎に注意が行ってしまいがちになるが、炎の元を消火することが重要とのことでした。

日頃、家庭内の何処に消火器が置いてあるかを確認しておくことも重要とのこと。写真:説明をする消防署員



日頃、家庭内の何処に消火器が置いてあるかを確認しておくことも重要とのこと。写真:説明をする消防署員



生徒らが阿左美沼清掃

笠懸東小学校4年生ら阿左美沼清掃

11月22日(火)、午後より笠懸東小学校4年生による阿左美沼清掃が行われました。この行事は総合学習の一環として22年前から継続されている授業です。

阿左美沼は水田に引くための重要な水源池ですが、ゴミを拾うだけではなく5年生による稲づくり体験授業に備え、沼の歴史や役割などを理解することが目的です。

また、土地改良区の役員さんたちと協働で清掃することで、環境保全や稲作について学ぶ事ができます。

今年度は児童70名、教員4名、保護者20名土地改良区役員など15名の合計109名が参加しました。近年は大型ごみよりプラスチックごみが増えていましたが、今年は特別に少なく感じました。22年継続による成果が出ているものと思います。

小沼西側道路沿いに パンジーと葉牡丹の植栽



11月12日(土)午前9時より、農地・水阿左美地域環境保全協議主催により、小沼西道路沿いにパンジーと葉牡丹を植栽しました(写真)。殺風景になりがちな冬の街路を明るく華やかな景観にすることを目的としています。

当日は協議会役員はじめ構成員さんなど15名が参加しました。パンジーはスマレ科スマレ属でビオラと共に秋から花が咲き始め春までの長く楽しむことができます。また葉牡丹も

耐寒性に優れ寒くなると共に色づく葉を冬から春にかけて鑑賞できます。パンジーも葉牡丹も落葉した河津桜のもとで鮮やかな花卉色を楽しませてくれるでしょう。

第三区民生委員をたずねて

永年にわたり第三区の民生委員を務めていただいている森田峯治さん取材しました。第三区公民館でわかばサロン終了後に、民生委員とは何か?どのような活動をしているのか?等のお話、思いを伺いました。



民生委員とは厚生労働

大臣から委嘱されたボランティアであり、地域住民の暮らしを支援します。児童委員も兼務する任期は3年の非常勤地方公務員です。

主な活動としては、月1回の定例会があり、行政からの知らせや事業への協力、情報交換、交流活動を行います。地域の人々が安心して相談できるように民生委員には相談内容等を含めた個人情報を守る守秘義務があります。

具体的活動として相談支援活動、見守り活動、地域福祉活動、調査活動、研修活動、主任児童委員との学校訪問等があります。

民生委員は地域住民の一員であり、また専門職ではありません。あくまでも地域住民の身近な相談相手であり、行政の専門部署へのつなぎ役です。ただし、適切な支援に結び付けるために、研修により各種福祉制度や法律、関係機関の業務内容等を理解する必要があります。第三区には上班東、上班西、中班、下班の4名の民生委員・児童委員がいます。

森田さんは平成16年12月1日に就任、現在の7期目に至るまで長年にわたり民生委員の仕事の続けられてこられました。この間、本当に多くの方々がお世話になってきたことに感謝申し上げます。

取材をとおして「民生委員は身近な地域の相談相手であり、いつでも迅速に対応させていただくので、とにかく遠慮なく相談してほしい」という強い思いを感じさせられました。

写真:わかばサロンで司会を務める森田さん(左)。

さんくすがインターネットでも見られます
<https://sannkusu-kasakake.com>
 右のQRコードを読み込んで下さい



年末年始の風景

歳末夜警

暮れも押し詰まった12月28日(水)～30日(金)の3日間に、みどり市消防団第1分団による歳末夜警が行われ、地域内を消防車が巡回し、火災予防を呼びかけました。

1日目の28日には、笠懸第一区～第三区の各区長が激励で訪問しました。その後、市長とみどり市職員が各分団を巡回して激励し、29日には桐生みどり消防署員、30日にはみどり市消防団本部の方たちが同様に訪問していました。

消防団員の皆さんは年末の忙しい中、夜間に集まり火災予防のために地区を巡回していて大変だとは思いますが頑張ってください。訪問時に、分団長は「どの家庭も火災の発生には気をつけてほしい」と言っていました。年明け早々の1月3日には火災報があり、消防団員たちは出動して

いきました。冬場は空気が乾燥し出火しやすい時期ではありますが、時期に限らず皆さん火災の発生には十分注意していきましょう。



初日の出

阿左美沼で初日の出を迎える人の数は毎年確実に増加していて、20人ほどがご来光に手を合わせたり、カメラに収めてい



ました。

初詣

浅海八幡宮では日の出となる午前7時に一年の安全祈願がなされました。多くの参拝客がそれぞれの願いを込めて手を合わせていました。参拝後は焚き火を囲み、新年の挨拶を交わしていました。

ちょっとピンぼけ

◆本号で36号、年4回発行なので丸9年が終わり、次号から10年目を迎える。愛される紙面作りに精進せねば。

◆毎日の楽しみはBS放送の水戸黄門。町人からお金をせしめる悪代官を懲らしめる毎回同じパターン。見終わると「この世に水戸黄門はいないかな」とつぶやく。これも毎回同じパターン。増税や値上げ、五輪の談合など、世相と似ているからか。

◆国道50号の焼肉きんぐのところの交差点は県内でも事故が多い交差点



で、近年でも死亡事故が起きている。「見通しが良いのに」と不思議に思い注意して走ってみた。

桐生方面から前橋に向かい、坂を下るとき、ホンの一瞬ではあるが案内看板の陰に信号機が隠れ、信号の存在が解らない地点が現れる。構造的欠陥だと言っても過言ではないだろう。

政治に関わる人に改善をお願いした。写真は歩道からの撮影。走行車線からは案内看板に信号機(写真では赤)が隠れてしまう。(あらいぐま)

事業所紹介(8) あざみん家

あざみん家Ⅱはサービス付き高齢者住宅、通所介護施設として2013年6月1日に運営を開始しました。

同施設は通所介護としてのデイサービス業を主体とする運営で、みどり市の他、関連支援事業所と介護サービスを連携しながら総合的なサービスを提供することを目標に運営されています。

特に地域との結びつきをご理解戴き特別区費等のご協力をいただいております。



育成会の資源ゴミ回収

協力に感謝

近年はコロナ禍で活動を自粛していた子ども育成会の資源ゴミ回収を今年度は再開し、予定どおり年3回実施することができました。

第3回目は2月19日(日)に実施されましたが、収入金額は確定していません。昨年11月に実施した第2回目の収入は10,863円あったそうです。

その収入金は、今年度は部分的に再開した育成会行事に参加している多くの子ども達のために有効活用されています。

育成会の前井会長から「区民皆様のご協力に感謝し、次年度も引き続きお願いします。」と感謝の言葉がありました。

なお、前井会長は3月の任期満了をもって退任となります。